

# 「道の駅」を活用した地域資源魅力発信事業

委託元:愛知県東三河総局 調査実施:(公社)東三河地域研究センター

## 目的

本事業は、東三河地域10か所の道の駅事業者と地域資源を使った商品を取り扱う事業者の双方のニーズを把握したうえで、地域資源の魅力発信に繋がる新商品開発・販路拡大の取組を推進し、地域の名産品を確立・地域ブランドとしての展開を図ることを目的とする。

## 方法

- ①検討会の開催 : 道の駅事業者を集め、地域資源の魅力発信に繋がる商品の開発・販路拡大の取組の推進に向けて意見交換等を行う検討会を開催する。
- ②名産品開発ワーキンググループの開催 : 商品開発、商品PR等の取り組みを事業者と大学生が共同で行うワーキンググループを発足し、地域に根差した名産品の確立を目指す。
- ③魅力発信講座の開催 : 道の駅における共通課題を解決する講座を実施して、地域資源の魅力発信を強化し、販売の促進を図る。

## 検討会の結果

- ①構成員 : 東三河地域の「道の駅」事業者 (10駅)
- ②実績 : 4回 (うち2回は従業員交流会を実施)
- ③検討結果 :
  - ・スタンプラリー、イベント等の連携事業の可能性
  - ・産品交流・共同販売・共同商品開発等の連携事業の可能性
  - ・従業員交流の連携事業の可能性
  - ・防災等の連携事業の可能性
  - ・自主的な連携事業の進め方等の可能性



■ 検討会



■ 従業員交流会

## 名産品開発ワーキンググループの結果

- ①構成員 : (株)リンネファーム、(有)環境テクシス、東三河地域の「道の駅」事業者 (10駅)、愛知大学 (豊橋・名古屋校舎) 1年~3年生6名、等
- ②実績 : ワーキング6回 (準備会含む)、試験販売会2回
- ③取組内容 : 三河産ブランド豚「雪乃醸」を使用したポークジャーキーの開発等



■ ワーキンググループ



■ 試験販売会

## 魅力発信講座の結果

- ①構成員 : 東三河地域の「道の駅」事業者 (10駅)
- ②実績 : 3回 (第3回は一般公開)
- ③テーマ :
  - ・接客の心得や、従業員の意識改革について
  - ・地元の地域資源を使った商品開発の心得や、各地の地域資源を使った商品の選定や販売の考え方
  - ・三遠南信地域を含めた道の駅の活性化と連携の可能性



■ 魅力発信講座



■ 魅力発信講座 (視察)